



東京都済生会中央病院附属乳児院 平成30年度 第3号 2018.10.31.発行



東京都済生会中央病院附属乳児院 院長 山中一郎

暑い夏がようやく一段落したところで台風の上陸など、気象情報に目が離せません。どこからか香る金木犀に秋を感じていますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

子どもたちは、病院のサマーコンサートでオーケストラの生演奏に触れたり、夏祭りに参加したりして、まさに夏を満喫しました。また、以前、病院の中庭にあったウッドデッキで行われていた運動会も、新病棟の建築中はできませんでしたが、今年は13階のリハビリテーションセンターで行いました。皆、メダルをもらってとても嬉しそうでした。

そして、新乳児院もいよいよ建築着工になる予定です。皆様にはこれからも情報をお届けしますので楽しみにしててください。

最後になりますが、日頃よりボランティアの方々をはじめ、関係者の皆様には大変お世話になっております。子どもたちが元気に笑顔で暮らせるのも、皆様方のおかげと感謝しております。今後とも、よろしくお願いいたします。

理 念

「済生の精神」に基づいた思いやりのある養育の提供を通じて社会に貢献します。

(「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に手を差し伸べることです)

基 本 方 針

1. 子どもが安心できる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
2. 愛着関係を大切にし、情緒豊かな子どもに育てます。
3. 感動や成功体験を通し、自立心を養っていきます。
4. 子どもの成長の喜びを保護者と共有し、親子関係を大切にしながら養育します。
5. 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めていきます。

【0～3歳児の育児にお困りの方へ】 当院では育児相談を平日9～16時に受け付けています。詳しくは下記までご連絡ください。TEL 03-3451-8289 (直通) 担当 小泉看護師長代理

【建て替え寄付金について】 当院では建て替えに伴い寄付金を募っています。ご協力お願いします。詳しくは下記までご連絡ください。TEL 03-3451-8289 (直通) 担当 小泉看護師長代理



運動会

9月20日に運動会を開催しました。子ども達は体操着に着替えて赤い帽子を被り、元気よく会場である病院の13階へ。初めての場所で緊張してしまうのではないかと心配しましたが、準備体操の「エビカニクス」を楽しそうに行い、どの競技も家族や職員と協力しながら全員ゴールテープを切ることが出来ました。ゴーカート競争では、スタートを待ちきれない様子のお子さんの張り切った姿がとても可愛く、会場全体が笑顔で包まれました。競技の後はメダルを持って記念撮影。どの子の笑顔も輝いていました。たくさんのボランティアの方にご協力いただいて楽しい運動会を開催することができ、子どもたちに良い思い出が出来ました。

保育士 厚海 孝裕



主棟13階リハビリ室で数年ぶりの乳児院の運動会が行われました。運動会は、準備体操「エビカニクス」から始まり、子ども達は「ハイハイ競争」「どれにしようかな?」「ゴーカート競争」「大玉転がし」「アンパンマンだーいすき!!」と、発達に合わせたプログラムに参加しました。慣れない雰囲気にはびっくりしていましたが、楽しそうに笑顔を見せる子もいてみんなそれぞれの反応で楽しんでいました。最後に競技で獲ったおやつを子ども達はおいしそうに食べていました。外はあいにくの雨でしたが、大勢の皆様は足を運んでいただきありがとうございました。とても楽しい時間を過ごす事が出来ました。

保育士 武田 典子



看護師コラム



これからの時期は、RSウイルスやインフルエンザなどの風邪や、ノロウイルス等のお腹の病気が猛威を振るい始めます。今年もインフルエンザの流行がはじまりニュースになっています。病気には、人や物に接触してうつるものと、空気からだけでもうつってしまうものがありますが、人ごみの激しいところに長時間いない限りは空気感染することは稀です。子どもが病気にかかる多くの場合はどこかで病原に触れています。そのため、手洗いやうがいをしたり、不特定多数の人が触っている物に触れないようにするだけで大変な効果があります。また、子どもは自分の鼻水を上手に処理できなかったり、くしゃみも自由になってしまうので、マスクをつけることは自分にとっても人に対してもすばらしいエチケットだと思います。マスクは小さいころから慣れていると、大きくなっても嫌がらない子が多いです。これを機にマスク練習を始めてみてはいかがでしょうか。

看護師 新居田 佳祐



秋のレシピ



かぼちゃのポタージュ

今回はかぼちゃを使ったポタージュです。かぼちゃは7月から8月ごろ収穫され、食べ頃となるのは2～3カ月後の秋から冬にかけてとなります。日本で栽培されているかぼちゃには大きく分けて「日本かぼちゃ」、「西洋かぼちゃ」、「ペポかぼちゃ」の3種類があります。スーパーなどでよく見かけるかぼちゃは「西洋かぼちゃ」です。西洋かぼちゃは栗かぼちゃともいわれ甘味が強いのが特徴で、ポタージュ作りにも向いています。お子さんと一緒にかぼちゃのポタージュに飾り付けを行って食事を楽しんでみてはいかがでしょうか。

管理栄養士 菅原 綾子



【材料】 1人分：かぼちゃ(皮無し) 20g、玉葱 10g、牛乳 25g、コーンスープの素 8g、水 40g、飾り付け用の野菜(お好みの野菜を切り軟らかく茹でておく)

【作り方】

- ① かぼちゃを軟らかく茹で、ペースト状につぶす。
- ② たまねぎをみじん切りにし、軟らかく茹でる。
- ③ 鍋にかぼちゃ、たまねぎ、牛乳、コーンスープの素を加え中火で火を通しながらよく混ぜ合わせる。
- ④ 出来たものを器にいれたら、飾り付け用に切った野菜で盛り付けをする。

子ども達の日々の様子

町内の夏祭りに行って

お菓子をたくさんいただきました！

すすきとお団子を飾って

お月見もしたよ！！

みんなでお祭りに来ました！

飾りのお団子、
どうぞ☆



お月さま見えるかな～

大きな太鼓、どんな
音がするのかな♪

新入職員紹介

看護師

めいっぱいの愛情を子どもたちに注いでいこうと思います。子どもたちが安心して、笑顔で過ごせるように関わっていきたいです。



保育士

子どもたちにとって安心できる存在のひとりとなれるよう頑張りたいです。



看護師

子どもたちが毎日楽しく、笑顔で過ごせるように頑張っていきます。よろしくお願いします。



補助員

至らない点もあると思いますが、よろしくお願いします。



「心理士だよ」

～落ち着きがないのでしょうか！？～

戸外遊びが気持ちの良い季節になりました。お庭への扉を開けると、スタスタと靴もはかずに行ってしまうA香ちゃん。「まって、まって」と呼ぶ声はきこえないのでしょうか。公園でバギーからおりるや否やトコトコ走り出すJ朗くん。他のお友だちは大人のそばにいるのに、一人で砂場まで行ってしまいます。落ち着きがないのでしょうか。

歩くことができるようになると、ころんでもぶつかっても歩きたいようです。止まることの方が難しいので、前のめりに走るスタイルになりますね。そのうちによじのぼったり、とびおりたり始めるでしょう。見ている大人はハラハラしますが、子どもたちは自分で自分の訓練をしているかのようです。今の運動がもっと上手になって次の段階への土台になるように、と。大ケガにならないような環境を用意したいですね。

止めても、声をかけても行ってしまう時は、何かを見てそれを目指すことに夢中なのかもしれません。困った時や痛い思いをした時に大人を見たり、声をあげたりすれば、歩き始めの落ち着きのなさは心配する必要ないでしょう。あれこれに興味を示す探索活動は、知恵の始まりなのです。



心理士 柴田 薫

【苦情等相談窓口について】

当院への苦情は、師長代理、第三者委員又は当院玄関に設置してありますご意見箱（乳児院事務室前）までお願い致します。

苦情解決責任者：乳児院院長 山中一郎

苦情受付担当：看護師長代理 小泉菜穂子

第三者委員：須藤久美 川原邦子



【編集後記】 秋は運動会、お月見、遠足、楽しい行事がたくさんありました。冬も寒さに負けず楽しんでいきたいです。 K. K

すくすく 第65号 2018.10.31.発行

発行人 山中 一郎 編集委員 小泉 菜穂子

山崎 友絵 小長谷 香利 武田 典子 進藤 美智子